

汐入大根

南千住には江戸から明治時代にかけて汐入大根と言う超有名ブランドの大根が生産されてきました。

荒川区の五地区「南千住・三河島（荒川）・町屋・尾久・日暮里」のうち隅田川辺りの四地区（道灌山の日暮里は除く）は、砂混じりの土地が大根の育成に適していて白くて味の良い大根が取れ、多くの料亭等で引つ張りだこでした。明治22年に町制が引かれるまでの地名区分は上尾久村・下尾久村・町屋村・三河島村・新堀村・谷中本村・金杉村・千住宿南組・橋場地方汐入村となっていて当時は農業が盛んに行われていたことが「東京府資料」に見られます。

上尾久村の「クワイ」・谷中本村の「生姜」三河島村の「三河島菜」・枝豆」・金杉村の「ネギ」など江戸の有名ブランド野菜が生産されていたのです。

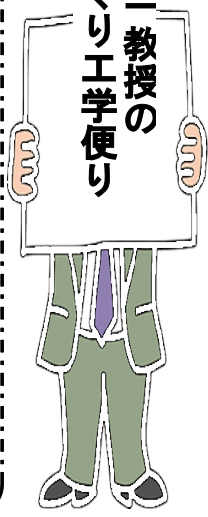
生産農家から消費者へすぐ届くのではなく魚も野菜も大部分は市場を通して届けられる仕組みに江戸の昔からなっていました。幕府御用市場とその他中小市場で取引されていました。三ノ輪村にも野菜市場があり、土物と言われる里芋・クワイ・大根が主に扱われていました。しかし、千住市場が隆盛を極めていた為、衰退してしまいました。浅草の「西の市」で有名な驚神社では昔からゆでた親イモを笹竹に四・五個位刺し、縁起物「この芋を食べると病気せず、丈夫で元気になる」と言われ買つて帰つて来たものです。これも三ノ輪市場に関係があったのではと思われま

す。魚では日本橋魚市場が江戸時代からありましたが、関東大震災（大正12年）で崩壊した為、南千住汐入へ大正12年11月に汐入魚市場を設置し営業を始めました。しかし、築地市場が新設された為、一年半の営業で終了し移転し、一部は千住牧の原（現在の西新井端土手下）へ移り、その後昭和16年千住大橋隣の橋戸町へ東京中央足立分場が新設され「やっちゃ場」と並行して魚も野菜も取り扱われて来ました。しかし、戦後取引が増加し敷地が手狭となった為、足立区の舎人地区へ野菜部門が移転し橋戸の足立分場は魚類だけの取り扱へと変わって行きました。

2010年5月発行の原稿を再掲載致しました。

☆六郎が語る☆ 南千住一口話 特別編 第104回

吉田喜一教授の ものづくり工学便り



吉村昭『コロリ』

産技高専名誉教授 吉田喜一

日暮里生まれの作家、吉村昭は表題小説を、1974（昭和49）年3月別冊『文芸春秋』に発表した。その後他の小品とともに、『文春文庫』87年4月1刷、95年11月第10刷）の『礎（はりつけ）』に上梓した。江戸末期から明治初期、千葉安房国の医家・沼野玄昌の、今でいうコレラとの格闘小説である。当時の漁民は玄昌の感染症に対する言説を理解できず、玄昌を殺害してしまう。大変リアリティーを持った歴史小説である。

この小説の初出が今から48年前というのは驚きである。昭の歴史洞察力の鋭さに感嘆する。なお、『冬の鷹』は南千住回向院での腑分け、『白い壁画』は胃カメラ開発のエンジニアの物語で、昭の医学に対する見識の高さがよくわかる。



消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

2021年 暑中お見舞い申し上げます

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。梅雨も明けて、太陽の眩しい暑い夏がやってきました。ただ残念なことに、2年連続でステイホーム中心の夏になりそうです。私もしばらくの間は、遠出はもろろんのこと、人混みへ出かけることも避けて過ごすつもりです。秋に日帰りLCC旅行の計画を2回（関空と高松）立てているのですが、果たして状況が落ち着いているかどうか？当店は昨年同様に、旧盆期間中もほぼ休まず営業することにした。おうち時間をラクに過ごせるメガネや、朝夕の散歩を快適に行えるメガネ、屋外レジャーを楽しめるメガネなど、用途・目的に合った一本をご提案します。

また、メガネの変形や破損といったお困り事のご相談も承ります。夏休みのお子さま限定で、メガネの製作工程をお見せすることもできます（要相談）。暑い盛りではありますが、ご来店をお待ちしています。引き続き感染症対策を講じておりますので、ご協力の程お願いします。ご来店前にお電話頂きますと、他のお客様さまと重ならないようにご案内できます。

【ワクチン接種について】7月20日現在、当店3代目は、すでに2回のワクチン接種を済ませております。また、4代目は、1回目の接種を7月26日（月）に、2回目を8月16日（月）に受けられるよう予約しました。そのため、この両日は営業時間を午後3時までとさせて頂きますのでご了承下さい。なお、副反応が強く現れた場合、接種日以後の営業予定を急ぎ変更する場合がございます。最新の営業予定、毎日の営業状況については、当店公式ホームページや、Twitterアカウントにてご案内します。



■メガネのサトウ ■ <https://megane-sato.com>
南千住5の43の13【東京新聞並び】
TEL 03（3806）4930

★休業日のご案内★

7月〜8月：毎週火曜日と、8月13日（金）は休業日でございます。

★営業時間のご案内★

※7月26日（月）・8月14日（土）〜16日（月）は、午後3時で終業とさせて頂きます。

平日（月〜金）：午前9時〜午後6時30分

土休日：午前10時〜午後5時